

トイレが変わる、トイレで変わる

学校トイレの 挑戦!

最新 全国自治体・公立小中学校
アンケート調査報告
データで見る学校トイレの変化
学校トイレの最新現場事例

座談会①

小児医療からの警鐘!

座談会②

性的マイノリティに配慮した
学校トイレに関する座談会

はじめに

2018年度全国公立小中学校教職員向けアンケートの結果、学校で施設改善が必要と思われる場所の第1位がトイレでした。空調やパソコンを抑え、圧倒的に高い数字です。過去の同様の調査でもトイレが1位でしたが、要望比率がさらに上昇していることから、改善が老朽化のスピードに追いついていない実態が浮き彫りになりました。

小児医療界からも、子どもたちが学校トイレに行くのを我慢することによる健康への悪影響が報告されており、学校トイレの環境改善は最優先課題です。

一方、優れたトイレ改修で成果を挙げってきた愛知県豊川市では、性的マイノリティにも配慮したトイレ空間を実現し、当事者視点からも高い評価を得ています(P.22～25)。

学校トイレは数々の大きな課題を抱えておりますが、それは必ず改善できる課題でもあります。学校トイレの挑戦は続きます。



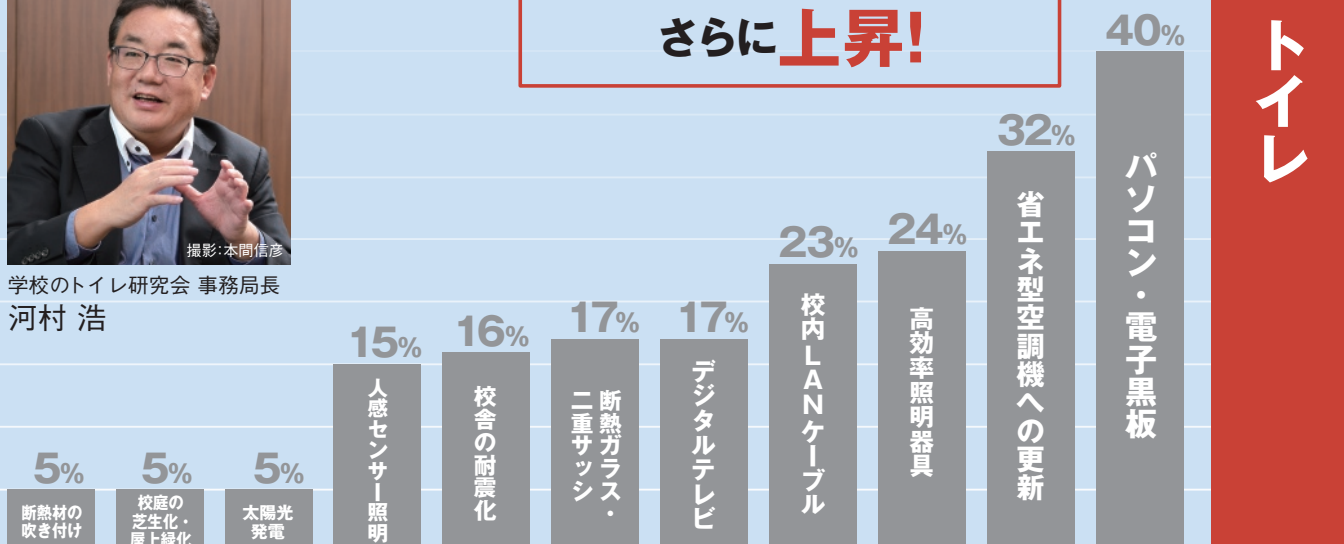
撮影:本間信彦

学校のトイレ研究会 事務局長
河村 浩

学校で、 児童生徒のために 施設改善が必要と 思われる場所は どこですか？

65%

トイレの改善要望は
前回調査(2015年)の59%から
さらに**上昇!**



〔2018年度全国公立小中学校アンケート調査〕より n=214、複数回答 ※データの詳細は14ページの「最新 全国自治体・公立小中学校アンケート調査報告」を参照ください。

CONTENTS

●学校トイレ座談会

- 03 小児医療からの警鐘!
医師の方々&学校のトイレ研究会
- 22 性的マイノリティに配慮した
学校トイレに関する座談会
認定NPO法人ReBit & 愛知県豊川市の皆さん

●学校トイレの最新現場事例

- 07 東京都国分寺市立第二中学校
- 10 滋賀県近江八幡市立馬淵小学校
- 16 兵庫県西脇市立西脇小学校
- 19 新潟県三条市立大崎学園
- 25 愛知県豊川市立長沢小学校、
愛知県豊川市立豊小学校
- 26 千葉県柏市立柏の葉中学校
- 29 愛知県豊田市立土橋小学校

●最新 全国自治体・公立小中学校
アンケート調査報告

- 14 データで見る学校トイレの変化

文部科学省主催「学校施設の防災対策セミナー2018」

2018年10月30日の文部科学省における講演に、学校のトイレ研究会の河村事務局長が登壇しました。熊本地震では関連死が直接死の4倍を超え、その主な要因が避難所などでの生活負担であったことや、洋式トイレにできる長蛇の列に、いくらペットボトルを配っても水分を控える高齢者が多かったことが伝えられました。

避難所のトイレ環境は、生命にも関わる最重要課題であることが再認識されました。





学校のトイレ研究会(写真奥から)
中西真人、井上豊、河村浩、井尾加奈子

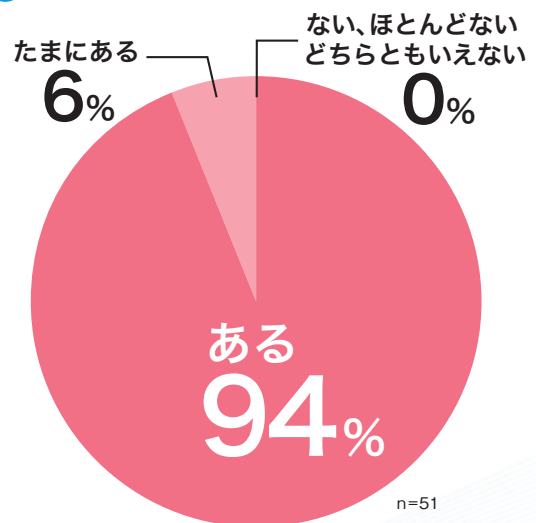
医師の方々(写真奥から)
岩間達先生、羽鳥麗子先生、立花奈緒先生

学校トイレ座談会 小児医療からの警鐘!

トイレの我慢が健康に悪影響

日本小児栄養消化器肝臓学会出席の医師51名に
聞きました

Q. 子どもたちが学校でトイレに行くことを我慢することは、健康に悪影響を及ぼす
ことがあると思われませんか?



医師51名を対象にしたアンケートで、上記の質問をしたところ、実に100%が「ある」または「たまにある」と答えた。医療の現場では「トイレの我慢は健康に悪影響を及ぼす」が常識のようだ。

日本小児栄養消化器肝臓学会出席の医師の皆さんにアンケートを実施したところ、多くの医師が、学校トイレと子どもたちの健康には関連性があると答えました。そこで、小児医療で消化器を専門とする先生方に集まっていたいただき、子どもたちの健康の実態についてお話を伺いました(対談内、敬称略)。

行きにくいトイレは 便秘の原因

河村 最近の子どもたちの消化器系や胃腸系の疾患または健康状態の傾向を教えてください。

岩間 外来で診療する患者さんの多くは過敏性腸症候群で、腸の機能の動き

の問題で生じる下痢や便秘、あるいは両方を交互に繰り返す方もいます。加えて炎症性腸疾患の患者さんも増えていきます。

羽鳥 患者さんのほとんどが慢性の機能性便秘の子です。就学前の2歳から4歳くらいの子が圧倒的に多いです。便秘に関する調査はいろいろ行われていますが、だいたい子どもの1〜2割くらい



は便秘だろうと言われていました。よく嘔まずにそのまま消化されてしまうものばかり食べていることや、入園後、集団行動になって自分の行きたいタイミングで排泄できないこと、親が相談できる人がまわりにいなくて、子どもの便秘を悪化させてしまつてから病院に連れてくるのも、便秘体質になる原因だと思えます。

学童期では、低学年は便秘がからんで慢性的にお腹が痛い子も多い。高学年では、便が固まりすぎて重症化し、そのま

わりから軟らかい便が漏れてしまつて下痢になる子もいます。そうなると学校に行けなくなる子もいます。

立花 実際に、炎症性腸疾患や過敏性腸症候群、便秘の患者さんは増えていると思えますね。

河村 学校トイレと便秘との関連性について、お考えや事例がありましたら教えてください。

岩間 「トイレの状況が原因で排便を我慢する」という意見はたくさんあり、便秘の原因になると思います。大腸に長く留まるほど便の水分が吸収され、硬い便になります。食事はそのまま続けますので、便の量も増える。すると、排泄するのにも困難や痛みを伴うので、子どもは排便を拒否します。すると負の循環に入つてしまい、いわゆる機能性便秘の状態ができあがつてしまつて。トイレに排便をためらわせる原因があるのなら、十分便秘の原因として考えられます。

機能性便秘の患者さんに三つの発症パターンを確認するのですが、その一つが「学童期の学校での排泄の難しさ」です。学校トイレが変われば子どもたちの排泄問題の改善にもつながると思えます。

羽鳥 便秘は食生活の改善で治る子もいますが、最初のきっかけが我慢癖による場合は、我慢のきっかけから片づけないと、薬だけの治療ではなかなか治らない。トイレ環境を整えることは大切だと思います。



岩間達先生(埼玉県立小児医療センター)

います。学校では排尿も我慢して、一回もトイレに行かないという子もいます。

立花 便秘傾向のあるお子さんたちは、出そうと思つたときにさせるわけじゃない。出したいと思つたときに出すのが、唯一のチャンス。それなのに、授業中だったり、学校のトイレの汚さから出せない、となるとチャンスを逃す。かつ学校にいる時間はそれなりに長いので、なんとか耐えて家に帰つてくる時にはもう便意は遠のいていたり、出しても十分に出せなくて少したまつてしまつたりする。

軽い便秘で生活のリズムの中でやりくりできていた子たちが、就学して学校のリズムに乗りきれなかったり、学校のトイレに行けなかったりして、急激に悪化するこはあると思えます。

温水洗浄便座がないと学校に行けない子も

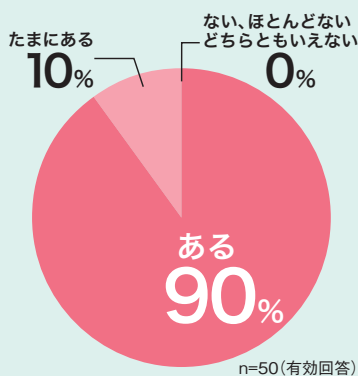
温水洗浄便座がないと学校に行けない子も

井尾 学校トイレの洋式、和式についてのお考えをお聞かせください。

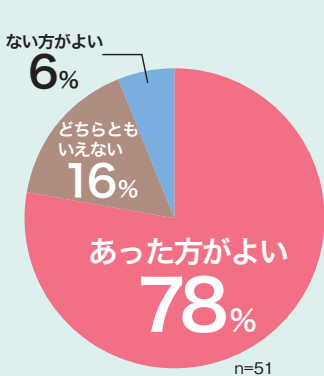
岩間 学校のトイレは洋式でいいんじゃない

日本小児栄養消化器肝臓学会で学校のトイレ研究会が医師の皆さんに聞きました

Q.臭くて汚い学校トイレが、子どもたちの健康に悪影響を及ぼすことがあると思われませんか？



Q.医学的見地から、子どもたちが使う学校のトイレに温水洗浄便座があった方がよいと思われませんか？



その他コメント

- ・便失禁などで温水洗浄便座が必要の子がいる。
- ・ハジキップのある方に温水洗浄便座が必要。
- ・過敏性腸症候群の子がかなり多い。(臭くて汚い学校トイレ)みんな困っています。
- ・自律神経失調がひどくなることあり。
- ・学校のトイレが汚くてなかなかトイレに行かず、夜尿・便秘の生活習慣改善ができなかった。

出典:日本小児栄養消化器肝臓学会出席の医師へのアンケート結果(2018年10月調査)



立花奈緒先生(東京都立小児総合医療センター)

ないでしょうか。排便の生理から言うと、和式は体勢的に理にかなっています。メリットはそれくらい。洋式でもちゃんとした座り方をして、お腹に圧をかければ問題ありません。

立花 学童年齢に関して和式が必要という認識はないですね。

河村 以前、さいたま市立病院の中野美和子先生から、「肛門に障害があつて紙で拭けない子どももいるので、温水洗浄便座が必要」というお話を伺いました。そういった症例はありますか？

岩間 過敏性腸症候群で腸の動きが過剰になり、便の回数が多い患者さんがいるのですが、毎回トイレトペーパーで拭くと痛くなる。だから、学校で温水洗浄便座がついている便器を探して用を足していると話していました。温水洗浄便座が唯一あるのが保健室だったそうです。

温水洗浄便座がなかったり、数が限ら

れていると、それが理由で学校に行けなくなることもあると思います。

立花 生まれつき正常な位置に肛門がない鎖肛、生まれつき腸の神経に異常があるヒルシュスプルング病で手術を受けた方、大腸摘出するような手術をされている方などの場合、肛門がみんな同じではなく、ちょっと複雑な形をしています。だから、トイレトペーパーで拭いたくらいでは、きれいになりません。粘膜が外にせり出すような形で肛門を作っている場合もあるので、ゴシゴシは拭けない。拭くと出血する子どももいます。

このような疾患がある子どもにとつて、温水洗浄便座の重要度はより高まると思います。こうした疾患に悩んでいる患者さんの割合は、決して低いものではありません。

湿式清掃は汚れを 広げているだけ

河村 学校トイレの衛生管理についてお



羽鳥麗子先生(群馬大学医学部附属病院)

話を伺いたいと思います。いまだに学校では、放水して清掃する湿式清掃が多く残っているのですが、その現状をどう思われますか。

立花 例えば、お風呂場やトイレでも、全部を丸洗いの環境であれば、話は別だと思えますが、トイレは基本的に濡れるのは便器の中やその周囲。

それ以外のところに水があるということとは、菌が繁殖しやすい環境になるということ。わざわざ水を流して繁殖しやすい環境を広げることになるので、湿式清掃がいいわけではないですね。

岩間 衛生面では逆効果。

立花 汚れたものを水で流すのは、汚れを塗り広げることになる。塗り広げられない状態にしておいたほうが、きれいに保ちやすいです。

井上 学校トイレの洗面器の水栓には、蛇口をひねるタイプも多く残ってい



河村浩(学校のトイレ研究会)

臭くて汚い学校トイレの実態

消化器専門の小児科医の先生方から見ると、学校トイレにはまだまだ改善すべき点、特に子どもの健康面における課題が多いようです。



ますが、どう思われますか。

立花 今、病院では手で蛇口を閉めるタイプはないと思います。菌を流すために手洗いしているのに、流す前に触ったところをまた触っていたら何の意味もないですからね。医学的に証明されていない常識です。学校も例外ではないと思います。

清掃会社による定期清掃が学校には必要

井尾 話は変わりますが、学校トイレの清掃は、多くの自治体で児童や生徒に頼っているところが多い状況です。この点についてどう思われますか。

岩間 教育的な側面から言いますと、自分が使って汚したものを自分できれいにするという意味において、児童生徒に参加してもらうのはいいと思います。ただ、メンテナンスという意味では大人の



中西真人(学校のトイレ研究会)

手が入ったほうがいいので、教員または清掃会社が入るのが理想だと思います。

羽鳥 逆に児童生徒では清掃は無理ではないでしょうか。トイレ掃除は、教育以上に衛生面が非常に大事だと思うので、メンテナンスも含めて定期的に清掃会社が入ったほうがいいと思います。

立花 普段のメンテナンスを児童生徒が自分たちでするのは大切だと思います。けれど、児童生徒や学校の先生がやっている掃除で完結できるとは思いません。ただ、毎日清掃会社に頼むのはコスト的にも大変。月に1回は清掃会社による完全な清掃が入るけれども、日々のメンテナンスは自分たち児童生徒で行う、というのがいいと思います。

中西 中性洗剤についてはどうでしょうか。洗剤をあまり子どもに使わせてはいけない。かといって水では落ちないので、中性洗剤をかなり希釈して使うという方向で学校側にはお話をしているのですが、子どもに危険性はあるのでしょうか。

岩間 中性洗剤のアレルギーは聞いたことがないですね。

立花 必要な人は手袋を使うようにする、という対応をすれば、危険はあまりないと思います。水だけでも、頻繁に素手のまま使っていれば、手荒れを起こす可能性はあります。

井上 なるほど、では手袋はしたほうがいいんですね。



井上豊(学校のトイレ研究会)

立花 使ったほうがいいです。

井尾 今日は貴重なお話をありがとうございました。医療界は校医の先生方を通じて、子どもたちの健康を見守ってきてくださいましたが、今後さらに、地域全体で学校トイレ環境の改善も含め、子どもたちの健康を育んでいかなくてもならないことを全員で再認識できたいと思います。

河村 2018年10月7日に埼玉県で開催された日本小児栄養消化器肝臓学会に引き続き、2019年11月9日に三重県で開催される日本小児外科QOL研究会においても、学校のトイレ研究会として、私が学校トイレの課題について講演する予定です。学校トイレ環境改善に向けた機運は、医療界においても徐々に全国に広まりつつあると感じています。

今日のお話も今後の研究活動で大切に参考にさせていただきます。ありがとうございました。



写真左から、井上豊(学校のトイレ研究会主任研究員/オカムラ)、中西真人(学校のトイレ研究会主任研究員/ニイタカ/感染予防協会代表理事)、立花奈緒先生(東京都立小児総合医療センター消化器科)、羽鳥麗子先生(群馬大学医学部附属病院地域医療研究・教育センター)、岩間達先生(埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科医長)、河村浩(学校のトイレ研究会事務局長/TOTO)、井尾加奈子(学校のトイレ研究会主任研究員/TOTO)

4F男子トイレ。壁掛け式の小便器により床の清掃性もアップ。開口部からの採光もよく明るい空間に。



学校トイレ事例

01

[改修]

東京都国分寺市 国分寺市立第二中学校

温水洗浄便座導入と全洋式化で トイレをリフレッシュ空間に

新しいトイレになって 集中力がアップ

「新しいトイレになって、授業にも集中できるようになりました」と語るのは、国分寺市立第二中学校の男子生徒です。改修前、トイレの前の教室ではにおいがひどく、授業に集中できなかったそうです。

かつて同校の副校長で、現校長の重松靖さんは、

「副校長時代は学校に来るとまずトイレの窓を開けて回った。それだけにおいがひどかった。今はきれいでにおいもなく生徒たちも喜んでいきます」と言います。

国分寺市は、市内全10校の小学校のトイレ改修を2017年度に終了。2018年度から5校ある中学校の改修に着手。1校目が第二中学校でした。

改修を担当した市の建設環境部の竹野祐子さんは、

「中学校生活は多忙で疲れている子もいます。ここ数年、市では子どもの数が増加し、校舎にはゆとりの空間が限られています。そんな中、トイレはリフレッ

シユできる空間にしたかった」と語ります。

そのため、壁には明るい植物柄のクロスを選択。荷物を置いて用を足せるようベンチも設置しました。スペースが確保できるトイレでは、洗面コーナーをアイランド型にし、十分なコミュニケーションが取れるようになりました。

また、床は木目調のシートを採用。検討の際は、防滑性を確認するため、床シートの実物を取り寄せて水をまき、滑らなどうかを試しました。

「学校のトイレづくりでは衛生面も重要。できるだけ非接触にしています」と市教育委員会の田中正英さん。

トイレの入り口は可能な限りドアレスにし、照明は人感センサーに。洗面器は自動水栓にし、男子トイレは自動洗浄の小便器を採用しました。

子どもたちのため トイレ改修を急いで

今回の改修では、基本的に大



4F男子トイレのブース。大便器にはすべて温水洗浄便座を設置。操作パネルは電池交換不要タイプのリモコンに。



第二中学校の生徒会のみなさん。「お母さんが『デパートのトイレみたい』と言っていた。新しいトイレになって、私も超うれしかったです!」と女子生徒。



4F女子トイレ。壁はメンテナンス性の高い化粧板や植物柄のクロス、床材は木目シート、洗面台はモザイクタイル。多様な素材が融合し、楽しい空間を演出。



仕切りの上部を開けることで空間に奥行きを出している。左手の格子窓は、「今後、四季折々の植物をつたわせるなどとして活用してもらいたい」と竹野さん。



「学校を楽しくする仕掛けの一つとしてトイレを作りたかった」と国分寺市建設環境部の竹野祐子さん。



1年生が使うトイレは未改修。新しいトイレに入った1年生女子は「早く(2年生になって)新しいトイレを使いたいです」



4Fトイレ入り口。ドアレスだが、クランクをつけてプライバシーに配慮。廊下側の壁にはすりガラスを設え、明かりを取り込むと同時に人の気配がわかるようにした。

便器は洋式化し、温水洗浄便座をつけました。
国分寺市内の小中学校は、地区防災センター(避難場所、避難所、医療救護所、物資配布場所、情報伝達場所の機能を有する地域の拠点)に指定されています。

「災害時は避難所であっても入浴が困難になります。お尻だけでもシャワーを使っていたらいいと考えました」(建設環境部の廣瀬英治さん)

さらに改修を推進する
国分寺市の中学校

「子どもたちのために、老朽化しているトイレの改修は喫緊の課題です」と語るのは、市教育委員会の日高久善さんです。

国分寺市は、今回、国庫の「学校施設環境改善交付金(補助率3分の1)」と、東京都の「防災機能強化のための公立学校施設トイレ整備支援事業(補助率6分の1)」を活用して改修を実現しました。

残る中学校4校も3年以内には改修を終えたいそう。

国分寺市では、全中学校のトイレ改修の早期完了が期待されています。



1F女子トイレ。洗面台横にはベンチを設置。荷物を置いて手が洗えるので便利。



1Fには多機能トイレを設置。他のトイレとデザインを揃えて床は木目調に。



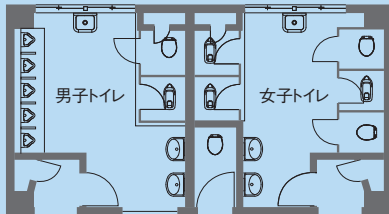
第二中学校 DATA



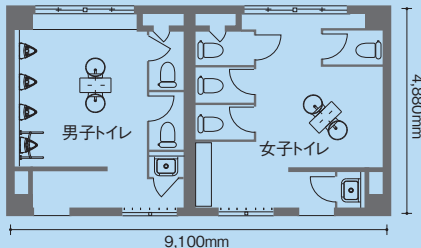
- 名称：国分寺市立第二中学校
- 所在地：東京都国分寺市本多1-2-17
- 生徒数：340名(2019年4月)
- 施主：国分寺市
- 設計・監理：竹松建築設計事務所
- 施工：タツミ建設
- 竣工年月：2018年8月

4F男女トイレ

改修前



改修後



全洋式化を実現。ももとの広い空間を生かし、アイランド型の洗面コーナーやベンチを作ったことにより、コミュニケーションが生まれ、リフレッシュできるゆとり空間が誕生した。



1Fトイレの入り口。クランクで仕切られているため中は見えないが、天井付近の壁を開けていることで開放的な雰囲気もある。

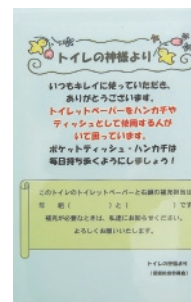


2F職員トイレ内。壁のクロス側は清掃性に配慮して床材を立ち上げている。

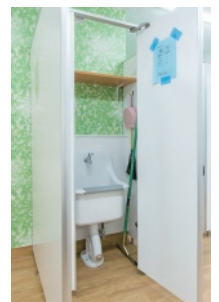
国分寺市立第二中学校の未改修トイレ (2019年度改修実施予定)



まだ改修の済んでいない西側1F女子トイレ(上)と、西側2F男子トイレ(下)。



保健給食委員の生徒がトイレトイレットペーパーと石けんを管理。トイレ内の張り紙は「トイレの神様より」と書かれていてユニーク。



国分寺市の小中学校ではシルバー人材センターや専門業者が定期的に清掃を担当。普段は散らかっていれば、生徒が簡単に清掃する。

全3フロアのうち2Fは「陸」がテーマ。「大木を何の素材で作るか、紆余曲折しました。大学院生や児童のアイデア実現と安全面、コストのバランスを取るのが難しかったですね」(込田建築設計事務所 玉本直人さん)。



学校トイレ事例
02
[改修]

滋賀県近江八幡市 近江八幡市立馬淵小学校

**参加型ワークショップで実現した
児童にとって本当に必要なトイレ**

**児童や大学院生の意見は
できる限り反映する**

「地域によって子どもが必要とするトイレは違う。子どもたちにとって本当に必要なトイレを作るには、その学校に通う子どもたちの声を聞かなければならないと考えています」

と語るのは、近江八幡市教育委員会の吉田圭一さんです。そう思った思いから、近江八幡市では、2011年から小中学校のトイレ改修の際には児童や生徒が参加するワークショップ(以下WS)を開催してきました。

中学校のトイレ改修では、市と生徒、教員でWSを実施。小学校では、加えて大阪市立大学で建築を学ぶ大学院生も参加します。「児童の年齢により近い学生の方が、一緒にやっている気持ちが生まれやすい」と考え、毎回依頼しているのです。

小学校のWSでは、大学院生が児童たちの考えを聞いて、内容を咀嚼し、実現できるようにアイデア化。それを、大学院生、設計士、市職員との三者で協議

して、設計コンセプトのベースと
しています。

「児童や学生のアイデアはできる限り実施する方向で知恵を絞って形にしています」(同市都市整備部 永岡善明さん)

**キャラ作りで、トイレに
関心を持たせる**

馬淵小学校のトイレ改修に際しては、2017年11月から2018年6月までの間に、計5回にわたる全児童参加のWSを開催しました。児童たちでできるだけトイレに興味を持ってもらいたいと、WSをリードする大学院生が「マブオン」という馬淵小の名前をもとにしたオリジナルキャラクターを演じました。

児童たちは、マブオンがやってくるWSの日を楽しみにするようになりました。

WSでは、まず、ゲームで世界のトイレを紹介。児童にトイレへの関心を深めてもらいました。次に、イメージするトイレの絵を考えてもらい、大学院生たちがその絵を元に3フロアにある



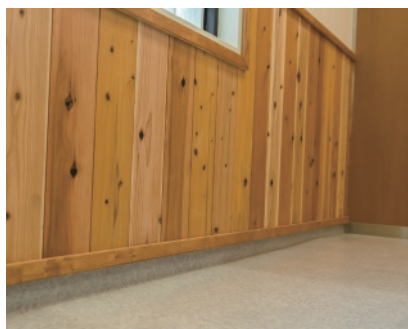
「トイレのお掃除は大好き」と児童の皆さん。



2F女子トイレ。3～4年生が天井の葉っぱの形を考え、大学院生が着色した。中心の柱部分は鉄骨、天井近くの枝は本物の材木できている。



2Fトイレの入り口。ドアは設けずにゆるやかに廊下とつながっている。天井にRの段差をつけることで奥行きを出している。



超防汚性ビニル床シートを採用。壁付近は、床材を立ち上げてほこりがたまらないよう配慮。



整理整頓が行き届いた掃除用具入れ。



プラスチック製のゴミ箱が空間デザインを損なわないよう、ゴミ箱用の棚を制作。

それぞれのトイレについて「水辺」「陸」「空」とテーマを決めていきました。

最終回では、トイレの意匠となるタイルや葉っぱを制作する施工を体験。児童たちは、「自分が作った」という経験を持つことで、トイレへの愛着を深めていきました。

こうして出来上がったトイレに子どもたちは大喜び。

「かつての湿式床の暗いトイレでは、1日にせいぜい1回しかトイレに行かなかった子が『今日は3回入ったよ』とお母さんに報告しているケースも出てきています」(同校上川力教頭 取材時)

WSで清掃方法も伝え子どもが清掃好きに

馬淵小学校のトイレ改修のWSでは、コンセプトを作り上げるだけではなく、乾式床のトイレの清掃方法も伝えました。

これまで市では、改修に当たってできるだけ汚れがつきにくく清掃しやすい床材や壁材を選んできました。同時に、湿式床から乾式床に変わること、清掃方法もしっかり伝えてきました。

「でも、改修後の学校に行ってみると、きれいに保たれていない



1F男子トイレ。1Fのトイレは「水辺」をイメージ。青い天井や、緑と青のタイルの壁ですっきりとした色の空間に。



1F昇降口前のトイレ。入り口はガラスブロックで光を取り入れ、内部の人影も見える。



1F男子トイレの入り口付近。棚があり、ちょっとした荷物が置ける。



1F女子トイレ。児童が使うトイレの大便器はすべて洋式便器で温水洗浄便座を設置。



正しい乾式床清掃の方法をWSで体験。



写真左より、玉本直人さん(込山建築設計事務所)、永岡善明さん(近江八幡市都市整備部建築課)、吉田圭二さん(近江八幡市教育委員会事務局教育総務課教育施設管理グループ)、上川力さん(近江八幡市立馬淵小学校教頭 取材時)。

ことが少なくない。清掃方法の伝達不足があるのではないかと考えました」(吉田さん)

トイレの清掃方法のWSでは、清掃の大切さや、それまでの湿式床のトイレとの清掃方法の違いを説明したり、実際にトイレに使う床材を取り寄せて、清掃体験も行いました。

湿式床だったときには敬遠されていたトイレ清掃ですが、清掃方法をWSを通じて身に付けた児童たちは、改修後には、「トイレ清掃が好きになり、「トイレ掃除がやりたい!」と言ってくる子もいるそうです。

「トイレをきれいに維持することで、この先何年も『トイレをきれいにしよう』という思いが伝わり続けたいですね」(吉田さん)



洗面台の水栓金具は、衛生上の観点からすべて非接触の自動水栓に。



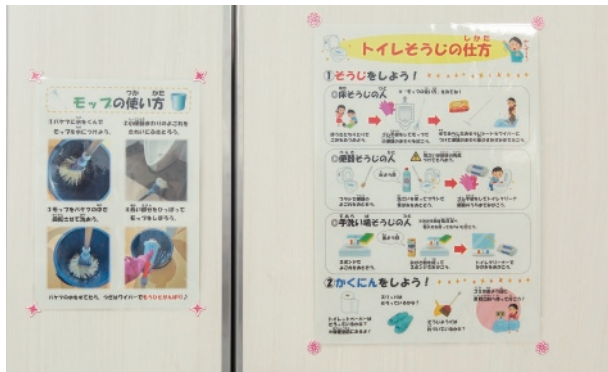
3F男子トイレ。「空」をイメージした空間で、照明によって雲が浮いているように見える。小便器下の汚垂れ石は、児童が一步前に出るように奥行きを短めに設定している。



3Fトイレの入り口。手前の壁は「雨粒」をイメージ。トイレと廊下を隔てる壁の上部が開いているため、廊下側にも光が取り込まれている。



壁は「風」をイメージして配色。ブース内のモザイクタイルは、児童たちがそれぞれの「虹」をイメージして制作。



教員手作りの「トイレそうじの仕方」のポスター。きれいに保つよう各学年の教員に加えて、教頭先生も毎日トイレを見回っている。

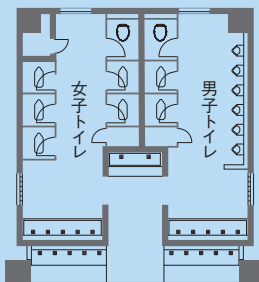
馬淵小学校 DATA

- 名称：近江八幡市立馬淵小学校
- 所在地：滋賀県近江八幡市馬淵町1533
- 児童数：159名(2019年4月)
- 施主：近江八幡市
- 設計・監理：込山建築設計事務所
- 施工：宮下建築
- 竣工年月：2018年9月

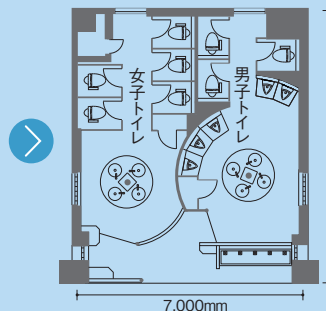


2F男女トイレ

改修前



改修後

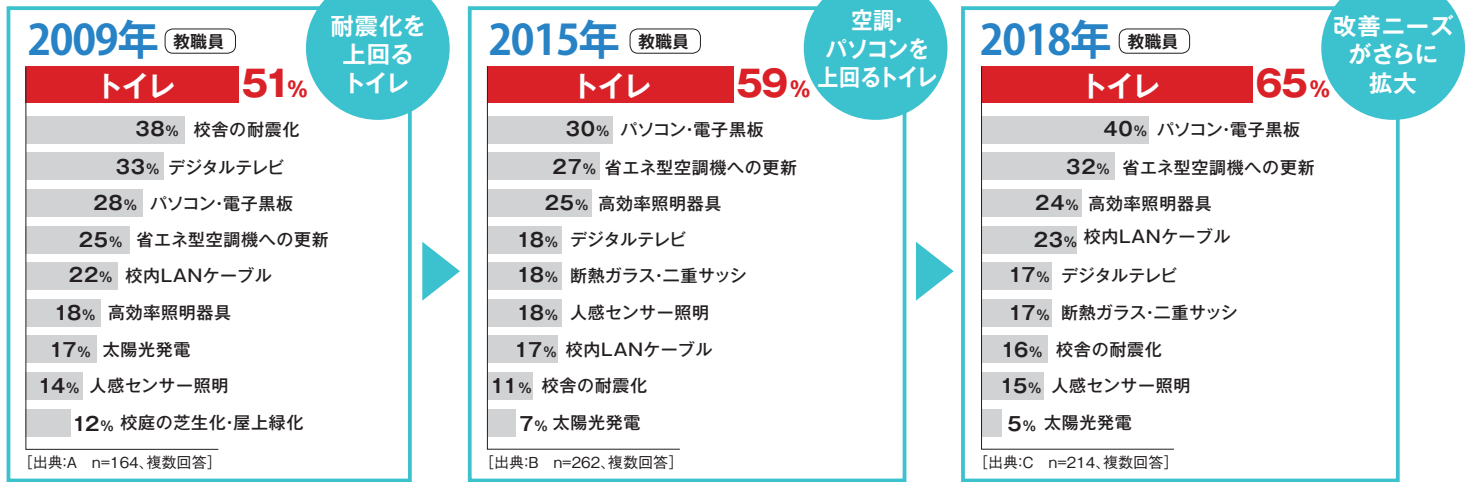


大学院にはこれまでのWSで蓄積されたデータがあり、子どもたちに最低限必要なブースの広さについても把握している。洋式化後のブース数はそれぞれ一つ減らすだけで済んだ。

学校トイレの変化

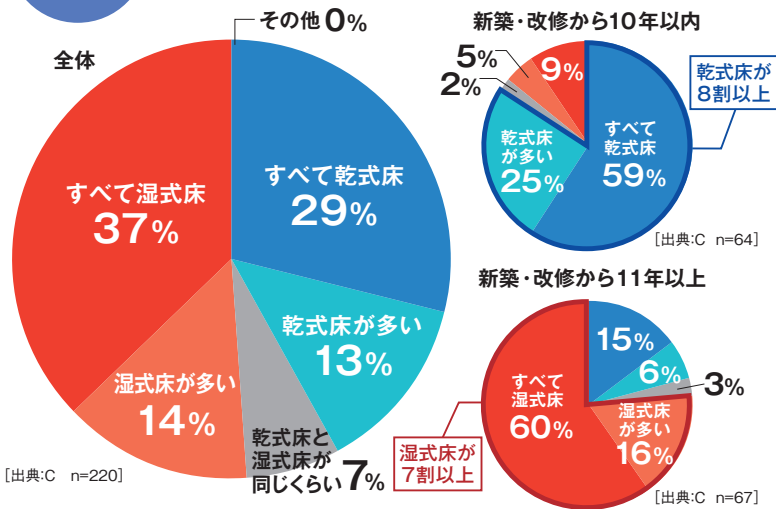
Q1

学校で、児童生徒のために施設改善が必要と思われる場所はどこですか？



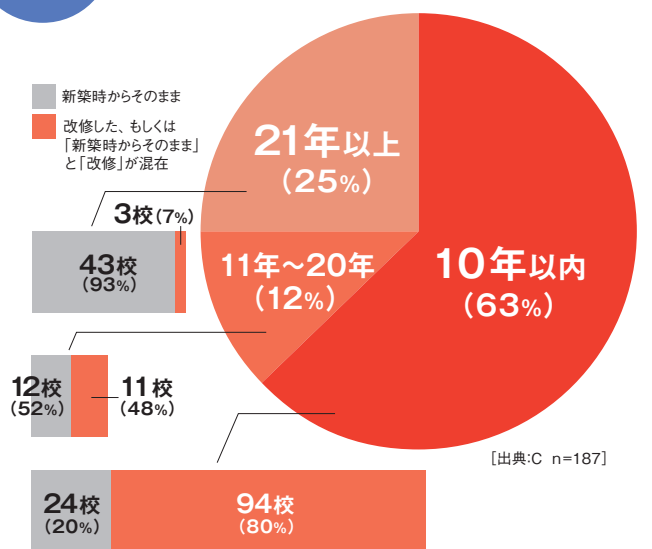
Q3

トイレの床は乾式、湿式のどちらですか？ (屋内トイレについて) (教職員)



Q2

児童生徒用トイレは、設置から何年程度経過していますか？ (教職員)



※「乾式床」:塩ビシートなどの床で、掃除の際はモップ拭きなどを行うもの。
 ※「湿式床」:タイルやコンクリート製の床で、掃除の際は水をまき、デッキブラシなどで行うもの。
 ※(※新築もしくはすべて改修のみ。年数不明、新築改修混在を除く)

性的マイノリティ配慮は
自治体・教職員ともに進展

続いて、児童生徒の性的マイノリティ(LGBTなど)配慮に関するアンケート項目です。
「トイレ整備に関して性的マイノリティの児童

Q2ではトイレ設置後の経過年数を聞きました。「10年以内」が全体の63%で、そのうちの8割が改修を実施しています。その反面、21年以上そのままという回答が全体の25%ありました。そのうち、特に新築時からそのままという回答が9割を超え、中には70年間そのままという回答もありました。

Q3ではトイレの床の状況について確認しました。全体としては湿式床の比率が比較的高い結果となりましたが、新築・改修から10年以内のトイレでは、「すべて乾式床もしくは乾式床が多い」が84%、逆に新築・改修から11年以上のトイレでは「すべて湿式床もしくは湿式床が多い」が76%となり、乾式床と湿式床を大きく分ける境界線は「10年」だということがわかりました。

10年以内が全体の6割超

学校のトイレ研究会では、年1回の自治体アンケート調査を実施。3年ぶりに公立小中学校の教職員向けにもアンケート調査を実施しました。

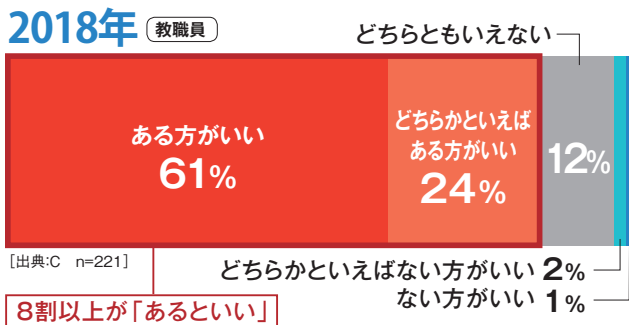
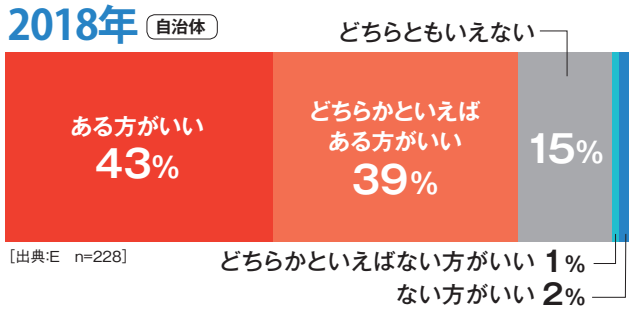
学校で児童生徒のために改善が必要な場所の1位はトイレでした。空調やパソコンなど多くの項目を圧倒し、トイレが今回も1位となりました。3年前調査の59%を上回る65%となり、改善ニーズはさらに拡大しています(Q1)。

改修の必要性への認識や性的マイノリティに対する理解が高まっているものの、いまだに多くの課題が残されているようです。

最新
全国自治体・公立小中学校
アンケート調査報告

データで見る

Q5 性別に関係なく使えるトイレが学校にある方がいいと思いますか？
(多機能トイレ含む)



【調査概要】

A: 2009年度全国公立小中学校アンケート調査
調査対象: 全国公立小中学校 1,000 校の教職員
(全国都道府県からランダムに抽出)
調査時期: 2009年 8月
回答数: 173 (回答率 9%)

B: 2015年度全国公立小中学校アンケート調査
調査対象: 全国公立小中学校 2,000 校の教職員
(全国都道府県からランダムに抽出)
調査時期: 2016年 1月～2月
回答数: 273 (回答率 14%)

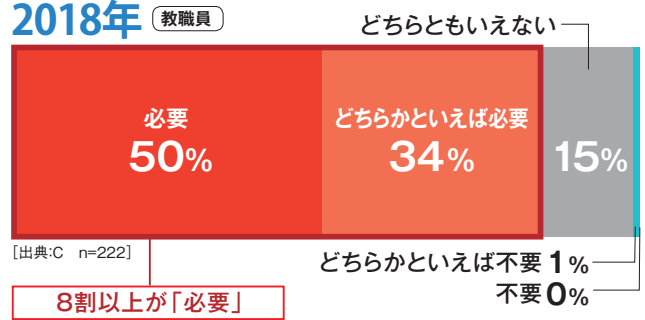
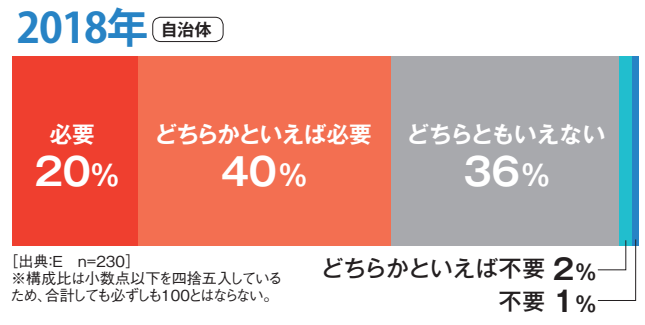
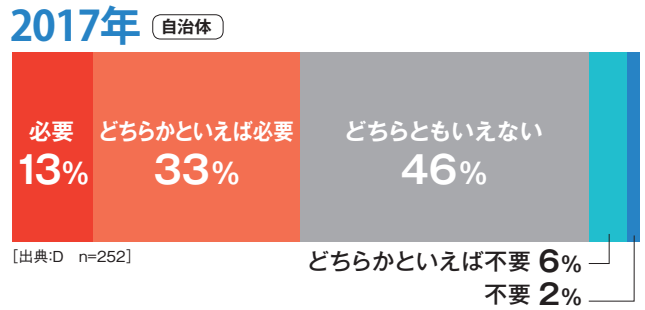
C: 2018年度全国公立小中学校アンケート調査
調査対象: 全国公立小中学校 2,000 校の教職員
(全国都道府県からランダムに抽出)
調査時期: 2018年 11月～12月
回答数: 222 (回答率 11%)

D: 2017年度全国自治体アンケート調査
調査対象: 全国 1,787自治体
調査時期: 2017年 9月～10月
回答数: 256 (回答率 14.3%)

E: 2018年度全国自治体アンケート調査
調査対象: 全国 1,787自治体
調査時期: 2018年 11月～12月
回答数: 232 (回答率 13%)

※調査方法: 郵送によるアンケート
※n数は有効回答数

Q4 今後のトイレ整備の考え方として、性的マイノリティ(LGBTなど)の児童生徒への対応も視野に入れる必要性があると思われるですか？



文部科学省が公表した学校トイレの改修効果や環境づくりの方向性

「トイレ改修による教育環境向上の効果」
(2018年7月発表)

「集中力向上」や「健康面・衛生面・生活面の改善」についての事例紹介がなされ、改修によってトイレの我慢が激減し、子どもたちの健康障害の大幅改善にもつながることが明らかにされた。
出典:「トイレ改修による教育環境向上の効果」(文部科学省 2018年7月10日)

「これからの小・中学校施設の在り方について」
(2019年3月発表)

今後の小中学校施設において特に留意すべき視点の一つとして「学校施設の機能向上」が示され、「洋式便器を採用するなど、生活様式や児童のニーズ等を踏まえた便所を計画」することが提示された。
出典:報告書「これからの小・中学校施設の在り方について～児童・生徒の成長を支える場にふさわしい環境づくりを目指して～」(文部科学省 2019年3月22日)

文部科学省ホームページ
<http://www.mext.go.jp>

生徒への対応も視野に入れる必要性があると思ふか」という質問に対し、自治体では「必要もしくはどちらかといえば必要」とする声が前年度の46%を上回る60%という結果となり、性的マイノリティに対する認知が広がっていることがわかりました。教職員では自治体よりさらに高い84%という結果です(Q4参照)。

「性別に関係なく使えるトイレがある方がいいと思うか」の質問では、「ある方がいい」傾向が自治体、教職員ともに8割を超える高い数字となりました(Q5参照)。「性的マイノリティの児童生徒に関して、学校や保護者から相談を受けたことがあるか」という自治体への質問に「ある」とした回答が前年度の2%に対し、今年度は7%に増えました。

文部科学省からも、トイレ改修による集中力向上や健康面などの改善についての事例紹介がなされたほか、今後の小中学校施設において特に留意すべき視点が公表されました。

中棟2Fのトイレの前。「改修前はトイレを我慢して腹痛を訴える子もいましたが、新しいトイレになってからは減りました」とは養護教諭の内橋佳奈子さん。



学校トイレ事例

03

[改修]

兵庫県西脇市 西脇市立西脇小学校

**築80年以上の木造校舎の保存改修
魂を込めるのは実際に使う子どもたち**

全フロアのトイレ設置と 一部男子トイレ全個室化

西脇市は古くから播州織の産地として栄えてきました。その黄金時代の昭和10年前後に建てられたのが、西脇市立西脇小学校の北棟・中棟・南棟、計3棟の木造校舎です。豊かさの象徴として高価な建材がふんだんに使われ、デザインも当時の最先端。80年以上経った今も往時の姿を留め、大切に使われてきたことが伺えます。

しかし、耐震性不足により一時は取り壊しが決定。「紆余曲折を経て保存改修への道が開かれました」と市教育委員会の森脇達也さん。そして、神戸大学大学院名誉教授の足立裕司さん監修のもと「建設当初の原状の意匠を保存・継承しつつ、文化財としての価値を失うことなく、校舎の耐震補強やバリアフリー化を実施して、安全な学習環境を整備する」というコンセプトで改修が行われました。

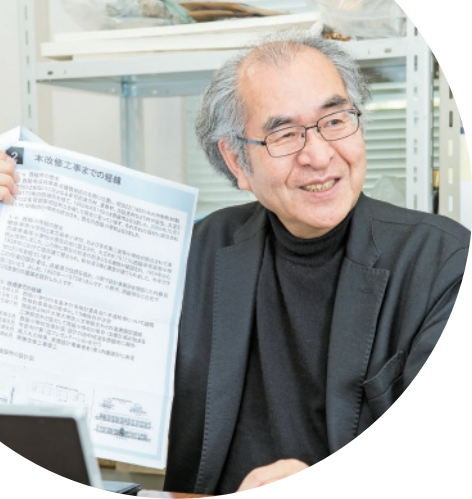
西脇市内の全8校の小学校は、西脇小を除き、2015年に洋式化への改修が済んでいました。「学校のトイレは家と同じに」という考えから温水洗浄便座を標準で設置しています」と市建設水道部の橋本将さん。また、衛生面からも、手洗いは非接触の自動水栓です。西脇小のトイレもこれに準じています。

改修前の西脇小は、南棟1階の東側と、北棟と中棟の渡り廊下西側にある計2カ所の別棟トイレのみでした。そのため、トイレ作りのメインコンセプトは、「3棟とも各階に一つトイレを作る」としました。

「木造校舎のトイレ作りで懸念されるのはオーバーフロー（水漏れ）で、2階のトイレ作りは敬遠されがち。しかし乾式床材や便器などの性能が上がり、今回実現できました」（足立教授）

西脇小のトイレ作りにはほかに大きな特徴が二つあります。

一つは、建物の意匠を壊さないよう、トイレに前室を設けて、そこに筆や手を洗う流しを納めていることです。水の飛び散りによる廊下の汚れも防ぐことができます。もう一つは、男子



神戸大学大学院名誉教授の足立裕司さん。文化財としての木造校舎保存改修を成功に導いた。



南棟1F東側の男子トイレ。安心して大便ができるよう小便器をなくして個室化。奥のベンチは、改修前は基礎だった部分を利用して設置。

西脇小学校木造校舎保存改修工事実施の背景と経緯

1934～36年(昭和9～11年)	3棟の木造校舎竣工
2008年(平成20年)3月	県の景観形成重要建造物に指定される
2013年(平成25年)7月	データ上耐震性が低いことから取り壊し、コンクリートの校舎を建てること決定 市民より「改修し保存」の声
2014年(平成26年)3月	学識者、市民の代表らで構成の「西脇市立西脇小学校基本計画検討委員会」を立ち上げ、検討
2015年(平成27年)1月	検討委員会から「保存改修を行い校舎として利用すべき」との答申。保存改修工事実施へ
2015年(平成27年)7月	市は神戸大学大学院人文学研究科に校舎改修基本計画・基本設計を依頼 大学側は、「西脇小学校基本計画・基本設計受託研究チーム [※] 」を結成し、調査、研究を実施
2017年(平成29年)3月	設計を終え、8月工事着工
2019年(令和元年)8月	保存改修工事完了予定

※西脇小学校基本計画・設計受託研究チームは、神戸大学と内藤設計を中心に、腰原幹雄教授(東京大学)ら14名の参加を得て構成された。



低学年のトイレ清掃は高学年が担当。



「子どもたちが掃除しやすいよう各トイレに清掃用具を置きたい」という要望をかなえるため、省スペースで済む壁掛け式の清掃用具掛けパネルを採用。



南棟1F東側の女子トイレ。便座は「家と同じ」を基準に、すべて温水洗浄便座に。



中棟1Fに設置した多機能トイレ。更衣室につながる前室があり、落ち着いて利用できる。

改修が完了した中棟や南棟のトイレの使用が可能になった日、子どもたちは我先にとトイレに駆け寄り、「誰が一番に使うか」を競ったそうです。

「雰囲気は昔のままの校舎ですが、中に入るとトイレを含めすべて新しく、子どもたちは喜んでいます。校舎を誇りに思う気持ちも強まったのではないのでしょうか」と白川智喜校長。

足立教授は、「出来上がった建物に魂を込めるのは実際に使う子どもたちや先生」と言います。

西脇小の校舎に魂が込められて大切にされ、さらに後世へ引き継がれることを、保存改修に携わった人たちははじめ、多くの西脇市民が願っているのです。

子どもたちが競って新しいトイレへ

用トイレ1カ所で小便器をなくし、個室だけにしたことです。

「男子が個室に入ると大便だと思われてしまう。だから小便器をなくしたという当社設計事例を踏まえて、今回提案させてもらいました」(内藤設計 森本恭行さん)。そのトイレは昇降口のすぐ近く。移動の際にさりげなく入ることができません。



各棟の2Fは渡り廊下でつながっている。エレベーターは中棟のみの設置だが、渡り廊下があることで、車いす使用の場合も校舎の間々まで移動できる。新規の2F渡り廊下の設計は遠藤秀平教授、槻橋修、福岡孝則准教授らにより外構計画などの検討がなされた。



教室の窓は防寒、防音のため二重に。カーテンは地場産業の播州織。



南棟2Fトイレ。排泄音への配慮から、女子トイレと男子トイレの間の壁の中にガラスウールを二重にして入れている。

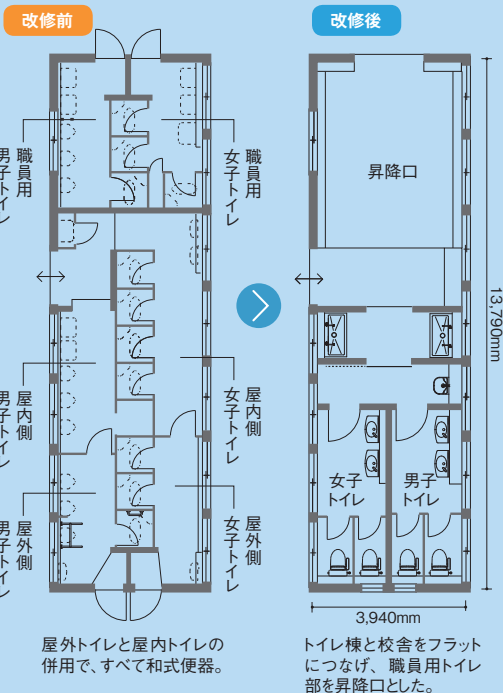
西脇小学校 DATA

- 名称：西脇市立西脇小学校
- 所在地：兵庫県西脇市西脇656-1
- 児童数：386名(2019年4月)
- 施工主：西脇市
- 設計・監理：内藤設計
- 施工：吉住工務店
- 竣工年月：2018年3月(南棟)、10月(中棟)



南棟中央にある玄関。過去の改修によって変更になっていた車寄せの上部などを元々の設計図に従って復原した。

南棟1F東側トイレ



筆などを洗う流しを前室に納めたことで、廊下はすっきりと往時の姿を留めている。



保健室には汚物流しとシャワーを設置。「低学年がもらしたときに、シャワーで洗い、気持ちよく帰ってもらえる」と養護教諭の内橋さん。シャワー室の床はすべりにくくヒヤッとしない仕様。



新しいトイレになり、清掃する子どもたちの顔は笑顔に。

校舎西側にある施工中(取材時)の屋外トイレ。グラウンド利用の際に使用予定。

棟と棟をつなぐ1Fの渡り廊下は、木造校舎にふさわしい床板でスロープを作り、バリアフリーに。



特別教室棟1Fトイレ入り口付近。1年生から9年生まで、さらに地域の人たちも一緒に使う校舎は、トイレ周辺をはじめさまざまな場所に交流スペースが配されている。

学校トイレ事例

04

[新築]

新潟県三条市 三条市立大崎学園

新潟県内初の義務教育学校を開校
子どもも地域の人も使いやすい校舎に

一体校舎により
小中一貫教育に注力

三条市では、義務教育9年間で連続した期間にとらえ、児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある教育活動を推進するために、2008年から小学校と中学校が力を合わせて9年間で子どもを教育する「小中一貫教育」に力を入れてきました。

2017年4月からの制度移行により、三条市内すべての小中学校（小学校19校と中学校9校）が併設型小学校・中学校となる小中一貫教育校へと移行しました。併設型は同じ中学校区の小学校と中学校が連携をするスタイルです。

そして、2018年4月、新潟県内で初となる義務教育学校として開校したのが大崎学園です。大崎小学校の隣接地に用地を確保し、校舎の老朽化が進んでいた大崎中学校を移転する形で統合しました。前期課程を1年生から6年生、後期課程を7年生から9年生とした9年間の義務教育学校です。

多様なニーズに
和式トイレを洋式化

前期課程はもともあった小学校の校舎を、後期課程は新築校舎を使います。しかし、新旧の差はあまり感じません。

「新旧の差を減らすために小学校の校舎も2017年から大規模改修をしました」（市教育委員会 阿部博文さん）

両方の校舎は廊下でつながっており、自由に行き来できます。前期課程と後期課程で厳格な校舎の進入禁止などのルールはありません。

「ただ、体育館やグラウンドは前期と後期で使う場所を分けています。体格差があり、運動中の衝突は危険だからです」（前期課程 名塚高明教頭 取材時）

新築校舎の特別教室棟内には、学校が地域の拠点となるよう地域交流室や地域活動室が設けられ、前期課程の子どもたちの放課後の居場所となる児童クラブも整備されています。職員室は全教職員が同室となり、日々の情報交換もスムーズです。



特別教室棟1F女子トイレ。災害時の避難所近くとなるため、すべて温水洗浄便座を採用。



特別教室棟1Fトイレ。地域交流室や武道場近くにあり、人の気配がわかるように入り口は乳白フィルム貼りの強化ガラスで施工されている。



普通教室棟2F男子トイレ。トイレの中には男女それぞれに広めトイレを設置。



普通教室棟2F入り口付近は大きな円形ベンチのあるコミュニケーションスペース。1Fの昇降口から2Fをつなぐ大階段は大崎ホールと呼ばれ、前期・後期課程それぞれの教室棟をつないでいる。



特別教室棟2Fトイレ。入り口はドアレスにするため、クランクにしてプライバシーを確保。地域の人も利用する体育館にも近いため、多機能トイレを設置。



支援教室内トイレ。バリアフリー化が図られ、車いす利用者にとって快適な多機能トイレとなっている。特別教室棟にはエレベーターも設置。



8年2組の教室前。入り口にはガラスが使われ、中の様子がよくわかるようになっている。



教室前の広々とした多目的スペース。可動間仕切りも備え、生徒たちの大切なコミュニケーションの場の一つ。

小中一貫教育導入の検討は全国的にも増えている状況です。

学校に通う児童生徒も、地域の人も、誰もが快適にトイレが使えるようきめ細やかに配慮されているのです。

二つの特別支援教室が専用のトイレをはさむ形で設置されています。また、地域開放エリア近くのトイレは、地域のさまざま人が利用することもあって、多機能トイレを配しました。利便性にも考慮して、特に1階はすべて温水洗浄便座付きにしています。

石川肇教頭 取材時
寒冷地であることから、建物を外断熱工法とし、地熱を生かして室内の温度を保つクール＆ヒートチューブシステムを採用しているため、冬でも極端な寒さは感じられません。

新築校舎のトイレは、もちろん洋式化されています。「家庭において洋式トイレが普及してきており、今後のトイレ改修で洋式化を進めているところだ」と(市教育総務課 佐藤信幸さん)

移転前の校舎は和式ばかりの古いトイレだったため、「新しいトイレになって生徒たちはすごく喜んでくれました」(後期課程



前期課程教室棟のトイレも大規模改修に伴い、一部トイレを改修。3F男子トイレ(上)、3F女子トイレ(下)。

大崎学園新校舎の一角には児童クラブがあり、保護者が就労している1年生から4年生までの児童の放課後の居場所になっている。男子トイレには汚垂れ石を設置(上)。児童クラブ専用玄関(下)。

保健室にはシャワールームと別にシャワーパンも設置。足のケガなどの際に洗い流すなどの処置に利用。

保健室内にあるシャワールーム。漏らしたり、嘔吐で汚れた際などに利用する。

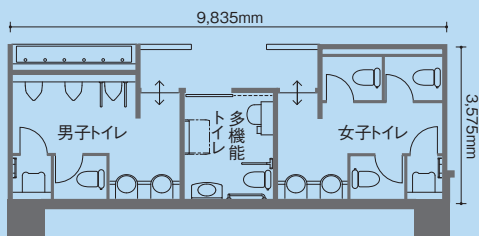
大崎学園 DATA

- 名称: 三条市立大崎学園
- 所在地: 新潟県三条市東大崎1-14-74
- 児童生徒数: 813名(2019年4月)
- 施主: 三条市
- 設計: 大宇根建築設計事務所
- 施工: 校舎棟: 本間・新潟アーバンJV
体育館棟: 水倉・フタバJV
既存校舎改修: 桑原工業
- 竣工年月: 2018年4月

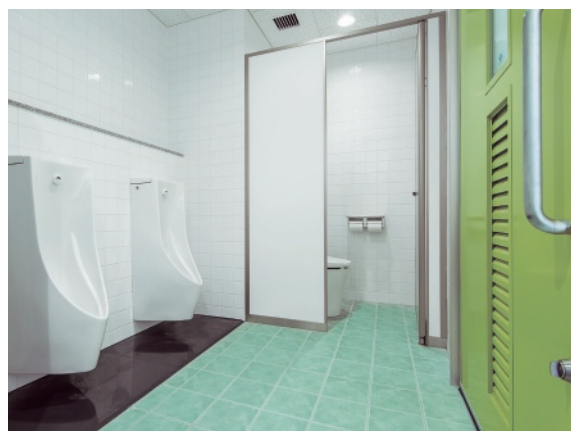


左側が新築校舎、右側が大規模改修された旧大崎小学校校舎。

特別教室棟1Fトイレ



廊下側から入ると、1本の動線が各トイレに振り分けられ、利用者のプライバシーが確保されている。



プール男子トイレ。屋上のプール利用時専用として、トイレと更衣室が男女別に設置されている。



幼児用の大便器は暖房便座を導入。年齢や用途に応じたさまざまな器具設備が整っている。



園児の収容人数が多いため、トイレのブース数をしっかり確保。奥には大人用の個室完結型トイレも。

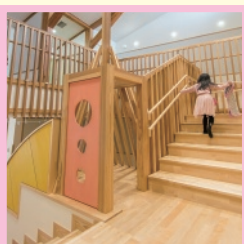


2Fトイレ内にはシャワーパンや汚物流しも完備。

設計: 大宇根建築設計事務所



1Fには男女共用トイレと多機能トイレを併設。教育的視点から男女のサインを設置。



木をふんだんに使った階段の踏み場。遊具と一体化し、園児たちの居場所の一つになっている。

小学校の隣接地に保育所を新築。幼保小連携の環境を整える

三条市では、子どもの育ちや学びの連続性・一貫性を確保し、子どもが意欲を持って小学校に入学できるよう、幼稚園・保育所(園)と小学校との交流活動を積極的に行うなど、幼保小の連携を図っています。2018年には、旧旭保育

所と旧裏館保育所を統合し、裏館小学校の隣に新しく「裏館保育所」として移転新築されました。新しい園舎は、定員180名と市内でも規模が大きいことから、トイレのブースも多く設置されています。



薬師実芳さん
認定NPO法人ReBit(リビット)
代表理事

三戸花菜子さん
認定NPO法人ReBit(リビット)
教育事業部マネージャー

学校トイレに関する座談会



薬師 「LGBTを含めたすべての子どもが、ありのままの大人になれるといい」と認定NPO法人ReBitを立ち上げました。子どもにフォーカスした理由は、特に学齢期に困難が多いと認識しているためです。LGBTの約7割がはじめを受け、トランスジェンダーの約6割に自殺念慮の経験があります。

今回、豊川市の小学校のトイレ事例を見ました。LGBTに限らず、学校トイレが使いづらいと思う子がいる中で、明るくてきれいで使いやすいトイレを作り、そのトイレが子どもたちにとって学校の誇りになっていると聞いて、素晴らしいと思いました。

三戸 一宮西部小学校の「みんな

ここ数年、学校のトイレ研究会では、性的マイノリティ配慮に関するトイレの課題について取材を進めてきました。その中で、愛知県豊川市がトイレ計画で考えている数々の工夫が、性的マイノリティ当事者の方々の幼少期における苦悩への配慮と符合する点が多いと判明。さらなるアイデアの創出や課題解決につなげるため、一宮西部小学校ほか、豊川市の事例を参照しながら、両者による座談会を実施しました(対談内、敬称略)。

「LGBT」、すごく素敵です。多機能トイレはマイノリティのためのトイレと思われがちですが、そうではなくて、男の子も女の子も、車いす使用者も使って大丈夫。みんなが安心して使える場所なのだときちんと発信して、子どもたちに浸透させ、実際にみんなが使えるようになっていく。違いによって誰かを排除しない空間があると、誰もが安心して学校生活を送ることができます。

また、保護者の方への「おたより」にみんなのトイレの説明を載せて、情報発信もされている。このように学校側が「性的マイノリティの子どもたちに対しても対応ができて」と伝えるのはすごく大事だと思っています。自身の子どものセクシュアリティについて学校に相談しうかが悩む保護者もいるのです。

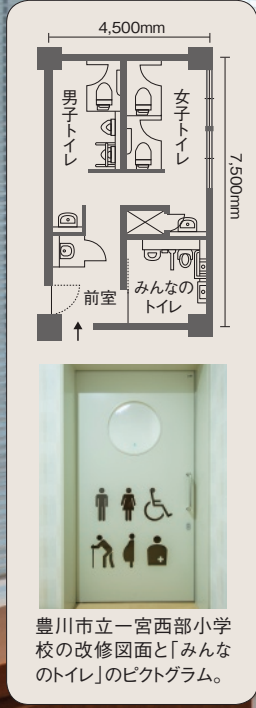
柴田 「誰がLGBTかを探そう」という流れには絶対にしてはいけない。でも、LGBTの子がいるときには、「学校として対応ができる」「共感できる先生がいっぱいいる」ことを保護者と地域に

伝えたいのです。ただ、保護者の考えや子ども自身の成長段階によって心の性別と誰を好きになるかは認識が変わることもあり、学校としては多様な性について授業で一律に子どもたちに伝えることにはまだハードルがある。先生たちが「みんなのトイレ」がなぜ必要かを説明する際に、そのトイレを使うさまざまな人の中の一人として性的マイノリティについて説明をすると、子どもたちは大人以上に柔軟に受け止めてくれます。



「みんなのトイレ」と豊川市が呼ぶ理由

研究会 一宮西部小学校のみんな



塩野谷宜和さん
愛知県豊川市 教育委員会
庶務課 技師

柴田斉子さん
愛知県豊川市立
一宮西部小学校 校長

佐野貴信さん
建築設計・監理 株式会社CREBLE
代表取締役

性的マイノリティに配慮した

なのトイレには前室が設けられています。設計の佐野さんのアイデアですか。

佐野 塩野谷さんから、「いったん中に入ってひと呼吸おいて、それぞれ男女トイレ、みんなのトイレに分かれたほうがいいのではないか」と提案があつて、前室を設けることにしました。結果として、子どもたちから「落ち着いてできる」トイレになりました。

塩野谷 そうなんです。家庭の雰囲気を出したくて、みんなのトイレの壁には、家庭用のクロスを張りましたが、子どもたちは、何も説明しなくても「安心できる」と言ってくれる。素直に感じ取ってくれるのです。

薬師 安心できる空間づくりは素晴らしいですね。関連してお聞きしたいのですが、みんなのトイレはスペースが広め。すると、便器の数が減り、行列ができるなどの使いづらさの問題は起きませんか。

柴田 今のところないですね。学校には、他の場所にもトイレがありますし、みんなのトイレに子どもたちが並んで渋滞することもない。譲り合って使っています。

塩野谷 少し呼び方のことをお話しします。「だれでもトイレ」という呼び方がありますが、豊川市ではあえて「みんなのトイレ」と

呼ぶようにしています。決められた男女のトイレに行くのではなくて、好きなところを選んで使っていて、だけど、みんなで仲良く使つてね、という思いを込めているのです。

性的マイノリティにおけるサインの問題

薬師 ところで、現在のトイレのサインに落ち着いたのはどういう経緯だったのですか？

塩野谷 豊川市のみんなのトイレも、かつては緑色の車いすのマークだけ。他のトイレは、男性が青、女性が赤でした。その後、一宮西部小学校のように、色分けしないシルエットだけのサインを作りました。車いすのシルエットだけだ



と、子どもたちが「車いす使用者専用」と思ってしまうので、どうしようか悩み、みんなが使えるようにということから、全部のマークを並べてみました。

薬師 なるほど。ありがとうございます。こういう議論で難しいのが、トランスジェンダーへの配慮も重要ですが、例えば、知的障がいがある方で、男女で分けて色がついているほうがトイレと認識しやすい方もいらっしゃると思います。ユニバーサルデザインは多様な視点からの議論が必要で、正解は一つでなく、だからこそ難しい。

研究会 ユニバーサルデザインはさまざまな視点からの検討が必要であり、これからも議論が必要だと考えます。あえて言うならば、今回の一宮西部小学校の事例は、義務教育課程の学校に配慮したデザインであり、他のパブリックスペースとは違うところがあると思つています。

**男女共用トイレは
人目を気にせずに済む**

少数者を排除しない空間があれば
誰もが安心して学校生活を送れる



豊川市の学校トイレ改修について

オリンピックが決まった2013年に、市の職員が新聞でLGBTの記事を目にしたのをきっかけに、教育の一環として性的マイノリティにも配慮したトイレ作りに取り組み始める。市立一宮西部小学校では2017年2月に実施した児童用トイレ改修の際、男子トイレ、女子トイレ、「みんなのトイレ」を設けた。前室を経てそれぞれのトイレに入れるため、廊下からは児童がどのトイレに入ったか見えない設計になっている。「みんなのトイレ」のサインは色づけをせずに男性や女性、車いすなどをシルエットで描いた。また、市立東部小学校では、お腹が痛くなった子のために保健室の前に手洗いまでできる個室完結型の男女共用トイレを設置した。学校トイレに関する先進的な取り組みは本誌でもたびたび紹介している。



認定NPO法人ReBitについて

2009年に学生団体として設立し、2014年にNPO法人に。LGBTを含めたすべての子どもが、ありのままの自分で大人になれる社会を目指し、大学生や20代など600名が参加。3事業を主に展開している。

1. 教育事業。学校などへ900回、9万人に向け研修提供。多様な性に関する教材を4万部発行。また、2019年度より一部の中学校道徳教科書でLGBTを扱うが、うち1社の制作協力を行う。
2. LGBT就活へのサポート。
3. 若者リーダー育成。全国のLGBTとその理解者＝アライの若者リーダーを全国で育成している。

<https://rebitglt.org/>

「みんなのトイレ」のある高校を探し 受験前にたくさん見学した子も

三戸 豊川市は男女共用トイレも作られていますが、女子は敬遠しがちではないですか。

塩野谷 敬遠していませんし、子どもにとっては全く関係ありません。「先生、うちのトイレはパパもママも同じトイレに入ってるよ」と言うそうです。

薬師 なるほど。ただ、小学校では平気だけど、中学生ではもしかしたら嫌だなど、発達段階により変わることはありますが。

塩野谷 中には、教員も男女共用トイレを使っている学校があります。女性職員は最初驚いていましたが、だんだん慣れてきて、最近は「家みたいで全然普通」と言いだしています。パブリックのトイレでは男女が分けられているので、固定観念が植え付けられているのでしよう。

三戸 学校にみんなのトイレがあることで安心できる子が多い。あるトランスジェンダーの子は、中学校生活で「学校のトイレに行けなかった」と言っています。みんなのトイレがある高校に入りたかったから、たくさん学校見学に行ったという子もいました。みんなのト

イレだったらみんなが使えるし、まわりの視線を気にする必要もないですからね。

トランスジェンダーが トイレで困っていること

薬師 「学校のトイレに行けなかった」というトランスジェンダーは本当に多い。例えば、男性の身体で生まれ、自認する性は女性であるトランスジェンダー女性は、小学1年生のときから立って用を足すのが嫌で、トイレを我慢し、何回も膀胱炎になったと言います。

私自身もトランスジェンダー男性ですが、「女子トイレにも男子トイレにも入りづらい」と思っている時期がありました。例えば、一部の人にはカミングアウトして、一部の人にはしていないとき。どちらのトイレに入っても驚かれるので入れない。誰もいない時間の、誰もいないトイレに行くしかないのです。

LGBTはいじめとも関連性が高く、LGBTの約7割がいじめを経験しており、その一部はトイレでも起こっています。トランスジェ

ンダーの方で「お前、ホントに男なのかよ」と言われてトイレで脱がされたり、身体を触られたこともあると聞きます。

また、恋愛対象が同性とわかったときに、同性であっても自分の身体を見られるのが嫌だと感じることがも。セクシュアリティにかかわらず、男性トイレには間仕切りがないことで使用しづらいと感じる人もいます。

LGBTとトイレのことは画一的に語られがちですが、セクシュアリティによって困難が違ふのです。いずれにしてもハードは大事。豊川市のトイレはとても有意義だと思います。

研究会 今日貴重なお話をありがとうございました。



左から、みんなのトイレ、男女共用トイレが三つ、男子小便器ブース。ブースごとに異なる草花や鳥、ハートモチーフなどの楽しい絵柄の壁紙が印象的。



学校トイレ事例

06

[改修]

愛知県豊川市

豊川市立豊小学校

左から、女子トイレ、男女共用トイレ、男子トイレ、男子小便器ブース。男女共用トイレについては、コンビニなどでも共用が一般的なことから児童の抵抗もなかったという。



学校トイレ事例

05

[改修]

愛知県豊川市

豊川市立長沢小学校



サインは6種類のアイコンをまとめて表示。廊下からいったん中に入り、どのトイレも選択できるよう配慮されている。保健室にも隣接。



各ブース内に手洗器と鏡を設置し、個室完結型トイレとしている。屋外トイレも同様。

新たにみんなのトイレが加わり、ブースは男女共用の個室完結型に



ピンク色で明るいみんなのトイレ。みんなのトイレが当たり前にあることが、人権を尊重する社会づくりのための教育にもつながっている。



みんなのトイレは壁全体を黄色に。給水装置やコンセントなどがすべてライニングに収められ、すっきりとして清掃もしやすい。

誰がどのトイレに入ったか廊下からわかりにくい配慮設計



屋外から使用するトイレは男女別。各ブース内に手洗器を設け、個室完結型とした。



共通の入り口から、どこでも好きなトイレに行けるよう配慮されている。

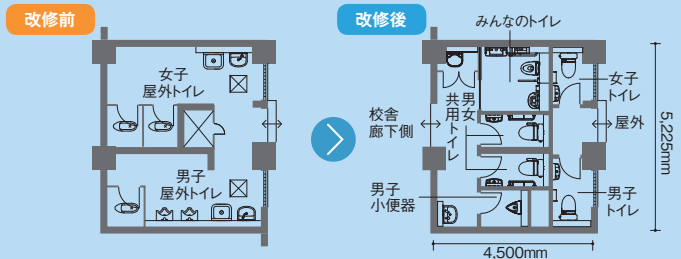


洗面台は自動水栓を採用。鏡もプライバシーに配慮して個別に設置した。

豊小学校 DATA

- 名称：豊川市立豊小学校
- 所在地：愛知県豊川市東豊町4-60
- 児童数：441名(2019年4月)
- 施工主：豊川市
- 設計：CREBLE
- 施工：花田工務店
- 竣工年月：2018年11月(改修)

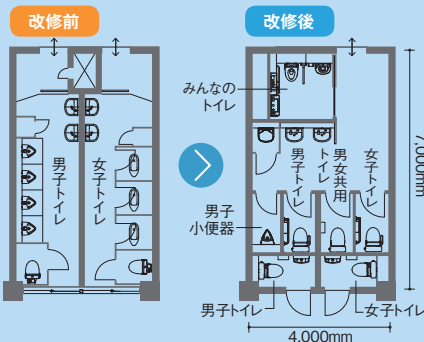
特別・普通教室棟1Fトイレ



長沢小学校 DATA

- 名称：豊川市立長沢小学校
- 所在地：愛知県豊川市長沢町新88
- 児童数：162名(2019年4月)
- 施工主：豊川市
- 設計：CREBLE
- 施工：波多野組
- 竣工年月：2018年10月(改修)

管理教室棟1Fトイレ



特別教室棟1Fトイレ。トイレの前には荷物を置いたり座ったりできるベンチが。

学校トイレ事例

07

[新築]

千葉県柏市 柏市立柏の葉中学校

トイレ作りは維持管理を重視し、
清掃方法の指導できれいをキープ

小中学校隣接で 中1ギャップ解消へ

柏市立柏の葉中学校は、市では28年ぶり、21校目の中学校として、2018年4月に開校しました。つくばエクスプレスの開通で、地域に子育て世代が増。教室不足を解消するために新設しました。柏の葉中学校の特徴の一つは、2012年開校の柏の葉小学校と道路を挟んで隣接していること。両校はブリッジでつながっています。

小学校と中学校が隣接する大きなメリットとして教育委員会（取材時）の竹内真次さんは、「中1ギャップの解消と、施設の共有化による維持管理コストの削減」を挙げます。

滝恒真教頭は、「開校から1年で生徒数も少ない。解消されたかわかるのはこれから」と前置きしながらも、「中学に進学後も、小学校時代の先生がそばにいるし、友人も大きく変わるわけではない。不安なく中学生活を送れるのではないか」と言います。

コスト削減はすでに成果を挙げています。施設は、プールと給食室、一部の普通教室を共有。プールを例にすると、1校当たり年間300万円ほどの維持管理費がかかりますが、共有によりこの費用は削減されています。

きれいに使い続けるため 建材は機能性を重視

トイレ作りでこだわったのは、まずは全体の配置です。

使用時に異なる学年が交差しないよう動線を考えて、普通教室のある建物の両端と、特別教室のある建物の真ん中の計3系統にトイレを配しました。

もう一つのこだわりは、清掃など維持管理のしやすいトイレを目指したこと。市では、毎年学校教員にアンケートを実施していますが、多いのはトイレに関する要望。市民も同様にトイレへの関心が高いそうです。

「きれいに長く使えるトイレが必要だと思いました」（竹内さん）
かつては、トイレは明るくした



特別教室近くの多機能トイレ。さまざまな機能がありながら、すべての器具がライニングにすっきりと内蔵され、快適に使用できる。



特別教室棟1Fの多機能トイレの前は、車いすも通れるようスロープに。



社会勉強の意味合いも兼ねて、多機能トイレにはおむつ交換台とフィッティングボードを設置。



大便器はすべて洋式。「10年前までは和式の声もあったが、和式を使う家庭が少なくなってきた。今回はすべて洋式にしました」(竹内さん)。



小便器は床の清掃がしやすい壁掛け式。



柏の葉小学校と柏の葉中学校をつなぐ空中ブリッジ。小学校高学年は中学校の一部の普通教室を利用している。



入学予定の児童の興味・関心の高い図書室やコンピューター室は意匠性を配慮。



床材は壁面まで立ち上げる施工に。隅にほこりなどがたまりにくくなる。

はきれいに維持されています。

の梶川尚美さん。

教諭主導で作成しました。

トイレ清掃のポスターも養護

例えば、昇降口近くのトイレでは、いきなり水拭きをする、外から入った砂利をこすりつけ床材を傷つけてしまうことがわかったため、最初の掃き掃除をしっかり行うようにしています。

また、市の職員や養護教諭が清掃セミナーに参加したり、メーカーに問い合わせるなどして積極的に清掃方法を学び、状況に合わせた清掃用具や清掃方法を取り入れています。



鏡の前には専用の乾いた雑巾が置かれ、濡れたらすぐに拭くことができる。



養護教諭制作の「トイレそうじの手順」に従って、まずはほうきで掃き掃除。



保健室には嘔吐物を処理するための汚物流しを設置。



濡れた雑巾は整理整頓し、風通しのよい廊下でしっかりと乾燥させている。



使い終わった清掃用具は元の場所にきちんと取められている。



清掃セミナーでの成果が表れている「トイレそうじの手順」。



災害時には避難施設となるため、アリーナの裏にはマンホールトイレを設置。



体育館トイレの入り口。大きなサインでわかりやすい。



普通教室棟南東側3Fトイレ。中央に多機能トイレがあり、左右に男女のトイレが。入り口にはクラックを作って、プライバシーに配慮。

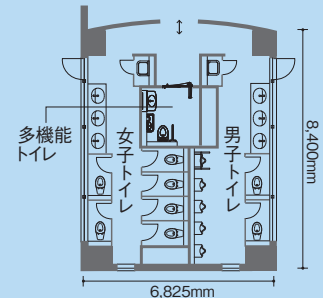
柏の葉中学校 DATA

- 名称： 柏市立柏の葉中学校
- 所在地： 千葉県柏市十余二337-93 中央405街区1
- 生徒数： 90名(2019年4月)
- 施主： 柏市
- 設計： 千都建築設計事務所
- 施工： 校舎棟 広島・小倉・助川特定建設工事共同企業体
体育館棟 小倉・椎名特定建設工事共同企業体
- 竣工年月： 2018年3月



正門の上に大きな屋根を設え、学校・地域の交流や情報発信の場とした。雨のときは児童生徒が雨やどりしている。

普通教室棟南東側3Fトイレ



校舎の端のトイレは、壁面が緩くカーブしている。正面奥に多機能トイレを配置し、前室的な空間がある。

改修当時、設計を担当した東畑建築事務所の久保さんは今もエコガイド育成をサポート。子どもたちにトイレの節水について説明する久保さん。



学校トイレ事例

08

[改修6年後]

愛知県豊田市

つちはし

豊田市立土橋小学校

エコ教育やトイレへの愛着は
仕組み次第で受け継がれていく

豊田市立土橋小学校では、視察などの来校者があると、児童が「エコガイド」として校内の環境への取り組みを説明します。

きっかけは、環境省の「エコフロ」事業のモデル校に選ばれ、改修したこと。2012年の改修工事後、視察が多いため、学校の案内と環境への配慮もできる「エコガイド」を育成することに。その後、「持続可能な未来を創るエコガイドの育成」をテーマに、1年生から6年生までのESDカレンダーが作られ、実施されてきました。

「仕組みがしっかり作られたことで、今に引き継がれてきました」（今井信仁校長）

トイレも改修に関わった児童の思いが語り継がれています。「先輩たちが作った大切な場所」として今もきれいに使われています」と、改修を担当した設計士の久保久志さん。

「2020年度から学習指導要領が変わり、アクティブラーニングが導入される。当校ではすでに根付き、成果を挙げています。今後も教育の柱として続けていきたいです」（今井校長）



エコガイド中の6年生。小便器の自動センサーは反応後何秒で流れるのが適切かを説明。



車いす使用者でも手洗いができるよう、洗面台の下に空間が設けられていることを説明。車いすでの実演も子どもたちのアイデア。



電力の消費量がわかる太陽光発電の発電量モニターについて説明する子どもたち。



「子どもたちは、ペットボトルを使って大便器のトルネード洗浄による節水量を説明してくれます」と今井校長と久保さん。

研究誌16号(2013年)。改修直後の6年前、エコ学習開始当時取材して以来の土橋小学校再訪です。今もトイレは改修直後と変わらず、においもきれいに保たれていました。電気使用量は改修した次の年に2割、その後3~4割削減。この省エネ実績により、豊田市から表彰も受けました。「ハードに頼るばかりでなく、使う子どもたちの意識が高いために現れた効果ですね」と久保さん。



※1 「学校エコ改修と環境教育事業」のこと。環境省、文部科学省、農林水産省、経済産業省が連携協力し、環境に配慮した学校施設のモデル的整備を推進した事業。
※2 ESDは、Education for Sustainable Developmentの略で、「持続可能な開発のための教育」と訳される。

研究会とは?

児童・生徒が安心して使える清潔で快適なトイレを具体的に提案・普及していくことを目的に、毎年研究誌を発行し、各種講演会を実施するなどの活動を継続しています。

今あるものをそのまま活かす、
エコメンテナンス

キレイなトイレに蘇る クリーニング工法

日常生活に不可欠なトイレ。弊社は「使う人の身になったとき、何を提供できるか」を、考え方の原点としております。

トイレを蘇らせる特殊清掃に加え、施工後の実技研修を通して、トイレをキレイに維持するメンテナンスアドバイス等も行っております。

さまざまな制約の中でも、学校のトイレを変えたいというニーズを実現するクリーニング工法です。

トイレの「キレイ」を創る会社

根本的クリーニング&メンテナンスで
学校トイレの「今」と「これから」を変える



臭い・汚れを
原因から改善

施工後の清掃
研修まで可能

今を活かした
エコ改修

さわやかなトイレ環境を創造する
株式会社 木村徳太郎商店

株式会社木村徳太郎商店

〒112-0004 東京都文京区後楽2-5-1
03-3811-2919
<http://www.toku-kimura.co.jp/>

子どもたちが喜ぶ、明るく、
入りやすい学校トイレを提案します

学校トイレの洋式化に 最適なトイレブース

学校向けトイレブース「ウェイブレット」は、ドアが円周上をスライドするので、和式便器と同じブーススペースでも洋式便器に当たらない省スペース設計。内引きで、ドアをよけることなく開閉でき、出入りもスムーズ。車椅子対応タイプも品揃え。トイレの洋式化改修工事に最適です。

清掃用具をきれいにきちんと保管するための清掃用具ハンガー「カケット」も、きれいなトイレづくりの必需品です。



OKamura

株式会社オカムラ
建材事業部 開発部

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-5
赤坂イトワンビル2F
03-5501-3396
<http://www.okamura.co.jp/>

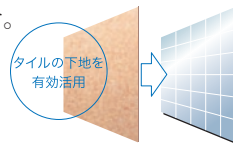
毎年1,000校以上の小中学校で
ご採用いただいております

堅牢性・清掃性・意匠性に 優れた壁装材「セラール」

「セラール」は3ミリ厚のメラミン不燃化粧板で、トイレブースやカウンターに使われるメラミン化粧板や、鉄扉や窓枠等を仕上げる化粧フィルムのオルティノと同柄が揃うことが特長です。

タイル壁の改修工事には環境に配慮した「セラール ONタイル工法」もあります。タイルの上から貼るだけの工法で「工期短縮」「廃材削減」「騒音低減」を実現します。

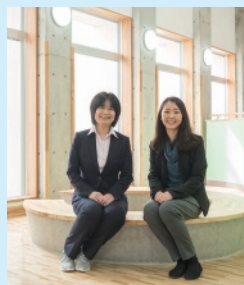
サインやロゴ・イラストなどのデータを壁面材にできる「セラール グラフィカタイプ」も好評です。



AICA

アイカ工業株式会社
設計推進部

〒163-0822 東京都新宿区西新宿2-4-1
新宿NSビル22F
03-6770-2007
<http://www.aica.co.jp/>



写真左から、主任研究員 井尾、加藤。
取材先の三条市立大崎学園にて。

学校のトイレ研究会
井尾加奈子

最後にありますが、取材ならびにアンケートにご協力いただきました多くの皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

報告信をしていきたいと思っております。

「学校」は子どもたちの集団生活の場の入り口で、バリアフリーやコミュニケーション、ルールといった社会的なことに意識が向くきっかけとなる場所です。

また、トイレを新しくしたら終わりではなく、きれいになったトイレを維持・管理することもとても大切なことです。

「学校」は子どもたちの集団生活の場の入り口で、バリアフリーやコミュニケーション、ルールといった社会的なことに意識が向くきっかけとなる場所です。

編集後記

研究誌22号をお読みいただき、ありがとうございます。

2019年5月、元号が「平成」から「令和」になりました。そして11月には学校のトイレ研究会が発足して24年目を迎えます。この間に学校のトイレが注目され、「汚い」「暗い」「トイレは少しずつ「きれい」で「明るい」トイレへと変わってきました。それでもまだまだ古いトイレもたくさん残っています。

学校のトイレ

当研究会は学校トイレの実態をソフト・ハードの両面にわたって調査・研究することにより、トイレ関連企業により1996年11月に発足いたしました。発足以来、

快適でメンテナンスしやすい
学校トイレのために

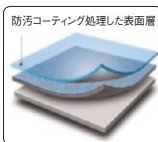
木目柄も好評発売中 トイレ用床材「サニタリウム」

学校トイレの快適化のために、研究会発足当時からご提案をさせていただいています。

2007年には業界初となるトイレ用床材「サニタリウム」を発売。

厚い防汚コーティングが尿によるシミ・汚れや、トイレ洗剤、カビ取り洗剤による変色から強力にガード。

乾式清掃に最適な
ノーワックスメンテナ
ンス仕様の超防汚性
ビニル床シートです。



 **ロンシール**

ロンシール工業株式会社

〒130-8570 東京都墨田区緑4-20-7
アステ21 6F
03-5600-1803
<http://www.lonseal.co.jp/>

トイレの後の手洗いに
薬用石けんの習慣を

殺菌力に優れた 薬用手洗い石けん液

まだまだ固形石けんを使用されている学校が多くありますが、固形石けんは菌の温床になっていることが判明してきました。

感染症や食中毒の主な原因は不十分な手洗いです。「トイレの後は必ず薬用液体石けんで手洗い」の習慣付けがとても大切と考えます。

弊社は殺菌・消毒用手洗い石けん液（医薬部外品）等の薬剤・洗剤の提供・啓発活動を通じて、学校のトイレの衛生レベル向上に貢献してまいります。



殺菌剤・塩化ベンザルコニウム配合の「薬用ハンドウォッシュBG」5kg。

洗浄と衛生管理に快適ソリューション



株式会社ニイタカ

〒532-8560 大阪府大阪市淀川区新高1-8-10
06-6395-2717
<http://www.nitaka.co.jp/>

子どもたちが安心して学べる
トイレ環境のリモデル

リモデルにおすすめ。 「パブリックコンパクト便器・ フラッシュタンク式」 「和洋リモデル工法」

「パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式」は、TOTOが培った便器洗浄技術で実現したパブリックの新定番。タンク式と同じ給水口径15Aで、連続洗浄が可能になりました。

また、一般的な大便器と比較して奥行き60mmもコンパクト。限られたスペースにおすすめです。さらに施工もラクラクで、掃除口付きタイプも品揃えています。

TOTO「和洋リモデル工法」（階下に影響を与えない1フロア工事・2日間施工）と合わせ、学校トイレの改修におすすめいたします。



あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO

TOTO株式会社
プレゼンテーション企画グループ

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-5
JR南新宿ビル6F
03-5309-2007
学校トイレに関する情報・カタログはこちら
<http://www.com-et.com/>

学校のトイレ研究会研究誌 22号

トイレが変わる、トイレで変わる

学校トイレの 挑戦!

発行日 / 2019年(令和元年)6月14日

*無断で本誌の全体、または一部の複写・複製・掲載を禁じます。
*本誌の著作権はすべて「学校のトイレ研究会」に帰属します。

●編集・発行

学校のトイレ研究会
アイカ工業株式会社 株式会社オカムラ 株式会社木村徳太郎商店
TOTO株式会社 株式会社ニイタカ ロンシール工業株式会社

●事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-5 JR南新宿ビル6F TOTO株式会社内
TEL: 03-5309-2007

●編集委員

アイカ工業株式会社
株式会社オカムラ
株式会社木村徳太郎商店
TOTO株式会社
ロンシール工業株式会社
株式会社ニイタカ

菅井隆博 園野智史 横井沙耶
井上 豊 中島徳二
木村基治 山本隼矢
河村 浩 井尾加奈子
西本真治 井上沙織
古里宏司 中西真人
大久保貴喜 (株式会社ユーホーニイタカ)

●制作協力

共同印刷株式会社

●編集協力

柴山幸夫(有限会社デクスト) 小川真理子(株式会社文道)

●デザイン

高井蘭美 早川千晴(有限会社ファイブ)

●撮影

鶴澤昭彦(有限会社スタジオ・パワー) 浅沼ノア

●印刷・製本

真生印刷株式会社

●表紙写真

滋賀県近江八幡市立馬淵小学校 (10~13ページ掲載)

学校のトイレ研究会研究誌

トイレが変わる、トイレで変わる

学校トイレの挑戦!

学校のトイレ研究会

学校のトイレ研究会は、学校のよりよいトイレ環境づくりをめざして、トイレ関連企業が結集し、1996年に発足しました。以来、各社の情報力、技術力を活かしながら、調査・研究・啓発活動を継続しています。

学校のトイレ研究会研究誌

学校のトイレ研究会は、学校トイレづくりの調査・研究の成果をまとめた研究誌を毎年、発行しています。ホームページで閲覧、取り寄せができます(無料)。



学校トイレ ノウハウブック

学校のトイレ研究会発足以来、調査研究を重ねてきた知見をベースに、空間・設備・清掃メンテナンスのあり方や具体的ノウハウをまとめた一冊。



学校のトイレ研究会ホームページ

<http://school-toilet.jp>

学校トイレ 🔍 で検索

- 学校のトイレづくりに役立つ、さまざまな情報を掲載しています。
- 学校のトイレ研究会研究誌取り寄せ
 - 学校トイレ改修のさまざまな事例
 - トイレづくりのポイント
 - 清掃やメンテナンス方法

